

建築法規専門演習 I	担当教員	単位数	履修方法
	森田 実沙	1	e-Learning

I はじめに

建築物の設計・施工するためには、建築物の敷地、構造、設備及び用途に関する最低基準を定めた法律、建築基準法を主とした、建築法規を学ぶ必要がある。建築士試験（学科Ⅱ：法規）でもその知識は求められる。本科目はこれまでに「建築法規」「建築法規専門演習 I」学んできた建築法規に関する問題演習を中心に行うことで、知識の定着度を確認し、自らの到達状況を知り、より深い理解と卒業年次に二級建築士試験（学科Ⅱ：法規）に合格するレベルを目標とする。

II 授業の目的・ねらい

建築物の設計・施工に必要な建築法規の理解の定着度を問題演習を行うことで確認し、自らの到達状況を知り、解答解説で間違ったところやより深い理解を得ることができる。卒業年次に二級建築士試験（学科Ⅱ：法規）に合格するレベルの知識の習得を目的とする。

III 授業の教育目標

二級建築士試験における各単元の重要ポイントの解説を行い、二級建築士の学科試験の過去問題に取り組むことで、二級建築士合格レベルの知識を身につける。また、演習課題と学修到達目標を設定し、個々に学修の到達を確認することができる。

テーマ1 授業の進め方、建築士試験の概要説明 用語の定義について

1. 何を学ぶか

建築士試験の概要及び建築基準法上の用語の定義について学ぶ。

2. 学習到達目標

- ・建築法規上の用語についての理解の定着度を確認し、自らの到達状況を知ることができる
- ・二級建築士試験に出題される用語の定義についての問題が解けるようになる

3. 研究課題

問題演習で間違ったところのまとめと復習

テーマ2 面積・高さの算定

1. 何を学ぶか

敷地面積、建築面積、床面積、延べ面積、建築物の高さ、階数について学ぶ。

2. 学習到達目標

- ・建築物の面積、高さについて理解の定着度を確認し、自らの到達状況を知ることができる
- ・二級建築士試験に出題される面積・高さの算定についての問題が解けるようになる

3. 研究課題

問題演習で間違ったところのまとめと復習

テーマ3 確認申請、建築手続き総合

1. 何を学ぶか

確認申請の流れや確認申請が必要な建築物等について、及び中間検査、完了検査等、建築手続き総合について学ぶ。

2. 学習到達目標

- ・確認申請等について理解の定着度を確認し、自らの到達状況を知ることができる
- ・二級建築士試験に出題される確認申請、建築手続き総合についての問題が解けるようになる

3. 研究課題

問題演習で間違ったところのまとめと復習

テーマ4 一般構造

1. 何を学ぶか

建築物の安全、防火、避難、衛生などに関して定められている技術的基準について学ぶ。(居室の採光、換気、天井高、床高、建築物の階段について等)

2. 学習到達目標

・建築物の安全、防火、避難、衛生などに関して定められている技術的基準について理解の定着度を確認し、自らの到達状況を知ることができる

・二級建築士試験に出題される一般構造についての問題が解けるようになる

3. 研究課題

問題演習で間違ったところのまとめと復習

テーマ5 耐火・防火

1. 何を学ぶか

耐火建築物等にしなければならない特殊建築物等についておよび耐火建築物等に求められる性能について学ぶ。

2. 学習到達目標

・耐火建築物等としなければならない特殊建築物について理解の定着度を確認し、自らの到達状況を知ることができる

・二級建築士試験に出題される耐火・防火についての問題が解けるようになる

3. 研究課題

問題演習で間違ったところのまとめと復習

テーマ6 防火地域・準防火地域

1. 何を学ぶか

防火地域及び準防火地域内の建築制限及び、防火地域及び準防火地域内の建築物に求められる性能（屋根、外壁等）、建築物が防火地域又は準防火地域の内外にわたる場合の措置について学ぶ。

2. 学習到達目標

- ・防火地域、準防火地域内の建築物の制限と求められる性能や構造について理解の定着度を確認し、自らの到達状

況を知ることができる

- ・二級建築士試験に出題される防火地域、準防火地域についての問題が解けるようになる

3. 研究課題

問題演習で間違ったところのまとめと復習

テーマ7 防火区画、避難施設等

1. 何を学ぶか

防火区画、避難施設等について学ぶ。

2. 学習到達目標

- ・防火区画、避難施設等について理解の定着度を確認し、自らの到達状況を知ることができる

- ・二級建築士試験に出題される防火区画、避難施設等についての問題が解けるようになる

3. 研究課題

問題演習で間違ったところのまとめと復習

テーマ8 内装制限

1. 何を学ぶか

内装制限を受ける建築物とその内装の基準について学ぶ。

2. 学習到達目標

- ・内装の制限を受ける建築物とその内装について理解の定着度を確認し、自らの到達状況を知ることができる
- ・二級建築士試験に出題される内装の制限についての問題が解けるようになる

3. 研究課題

問題演習で間違ったところのまとめと復習

テーマ9 構造計算・構造強度

1. 何を学ぶか

建築物の規模や高さ、種類に応じた構造計算や構造強度の技術的基準を学ぶ。

2. 学習到達目標

- ・構造計算の必要な建築物や構造計算の種類、それぞれの構造について理解の定着度を確認し、自らの到達状況を

知ることができる

- ・二級建築士試験に出題される構造計算・構造強度についての問題が解けるようになる

3. 研究課題

問題演習で間違ったところのまとめと復習

テーマ 10 敷地と道路

1. 何を学ぶか

建築物を建築する敷地と道路の関係、道路の定義や制限について学ぶ。

2. 学習到達目標

- ・建築物を建築する敷地と道路の関係、道路の定義や制限について理解の定着度を確認し、自らの到達状況を知る

ことができる

- ・二級建築士試験に出題される敷地と道路についての問題が解けるようになる

3. 研究課題

問題演習で間違ったところのまとめと復習

テーマ 11 用途地域

1. 何を学ぶか

それぞれの用途地域においてどのような用途の建築物が建てられるか、さまざまな制限について学ぶ。

2. 学習到達目標

- ・用途地域の種類とその建築制限について理解の定着度を確認し、自らの到達状況を知ることができる

- ・二級建築士試験に出題される用途地域についての問題が解けるようになる

3. 研究課題

問題演習で間違ったところのまとめと復習

テーマ 12 建ぺい率

1. 何を学ぶか

建ぺい率の限度とその算定法について、緩和措置や適用除外について学ぶ。

2. 学習到達目標

- ・建ぺい率について理解の定着度を確認し、自らの到達状況を知ることができる
- ・二級建築士試験に出題される建ぺい率についての問題が解けるようになる

3. 研究課題

問題演習で間違ったところのまとめと復習

テーマ 13 容積率

1. 何を学ぶか

容積率の限度とその算定法について、緩和措置等について学ぶ。

2. 学習到達目標

- ・容積率について理解の定着度を確認し、自らの到達状況を知ることができる
- ・二級建築士試験に出題される容積率についての問題が解けるようになる

3. 研究課題

問題演習で間違ったところのまとめと復習

テーマ 14 高さ制限、日影規制

1. 何を学ぶか

建築物の高さに関する制限（絶対高さ制限・道路斜線制限・北側斜線制限・隣地斜線制限・日影規制等）について

学ぶ。

2. 学習到達目標

- ・高さ制限について理解の定着度を確認し、自らの到達状況を知ることができる
- ・二級建築士試験に出題される高さ制限、日影規制についての問題が解けるようになる

3. 研究課題

問題演習で間違ったところのまとめと復習

テーマ 15 建築士法、その他関連法規等

1. 何を学ぶか

建築士法及びその他関連法規について学ぶ。

2. 学習到達目標

- ・ 建築士法及びその他関連法規について理解の定着度を確認し、自らの到達状況を知ることができる
- ・ 二級建築士試験に出題される建築士法及びその他関連法規についての問題が解けるようになる

3. 研究課題

問題演習で間違ったところのまとめと復習

IV レポート課題

課題	
----	--

V アドバイス

課題解説	
------	--

VI 科目修得試験：定期試験

定期筆記試験

VII テキスト

2級建築士試験 学科厳選問題集 500+100（総合資格学院）

基本建築関係法令集（法令編）総合資格学院編 総合資格学院

VIII 参考文献